

令和 8 年度病虫害発生予察注意報第 8 号

令和 8 年 9 月 2 日
愛 知 県

作物名：イチゴ
病虫害名：ハダニ類

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 多い

3 注意報発表の根拠

- (1) 8 月下旬に実施した巡回調査（14 地点 26 ほ場）において、本虫の**発生ほ場率は 46.2%**（平年 31.7%、昨年 32.0%）で**過去 10 年間と比較して 2 番目に高く、寄生複葉率は 10.54%**（平年 4.66%、昨年 4.28%）で**過去 10 年間と比較して最も高い。**
- (2) 名古屋地方気象台 8 月 27 日発表の 1 か月予報によると、向こう 1 か月の気温は高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件である。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 本圃で多発すると防除が困難になるため、二酸化炭素くん蒸剤の使用やモベントフロアブルの灌注など、本圃に持ち込まないように定植前の防除を徹底する（表）。
- (2) 主要な化学合成農薬に対する感受性低下個体群が確認されているため、天敵、気門封鎖型農薬を積極的に活用して防除する（表）。
- (3) 天敵を放飼する場合は、天敵に影響の少ない農薬を選定して防除し、ハダニ類の密度を低下させてから放飼する。
- (4) ハダニ類は薬剤感受性が低下しやすいので、同一系統農薬の連用を避ける（表）。
- (5) ハダニ類は下葉の裏に多く寄生するので、薬液が葉裏にも十分かかるよう丁寧に散布する。
- (6) 農薬によっては、ミツバチに対しての影響があるので注意して農薬を選択する。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室
電話 0561-41-7820

表 いちごに使用できるハダニ類の主な防除薬剤

農薬の名称	作物名	適用害虫名	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード
くん蒸用炭酸ガス	いちご	ナミハダニ	育苗期	1回	—（二酸化炭素）
エキカ炭酸ガス	いちご	ナミハダニ	定植前	1回	—（二酸化炭素）
モベントフロアブル	いちご	ハダニ類	育苗期後半 ～定植当日	1回	23
エコピタ液剤	いちご	ハダニ類	収穫前日まで	—	—（気門封鎖）
サフオイル乳剤	いちご	ハダニ類	収穫前日まで	—	—（気門封鎖）
サンクリスタル乳剤	野菜類(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く)	ハダニ類	収穫前日まで	—	—（気門封鎖）
粘着くん液剤	野菜類	ハダニ類	収穫前日まで	—	—（気門封鎖）
フーモン	野菜類	ハダニ類	収穫前日まで	—	—（気門封鎖）
ムシラップ	野菜類	ハダニ類	収穫前日まで	—	—（気門封鎖）
コロマイト水和剤	いちご	ハダニ類	収穫前日まで	2回以内	6
カネマイトフロアブル	いちご	ハダニ類	収穫前日まで	1回	20B
マイトコーネフロアブル	いちご	ハダニ類	収穫前日まで	2回以内	20D
ダニサラバフロアブル	いちご	ハダニ類	収穫前日まで	2回以内	25A
ダニコングフロアブル	いちご	ハダニ類	収穫前日まで	1回	25B
ダニオーテフロアブル	いちご	ハダニ類	収穫前日まで	2回以内	33

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac03.pdfを参照する。

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守ること。